

日本を、取り戻す。

自民党

党員を募集中です！詳しくは係員まで！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

外務委員会での質問より

～中国の拡張政策と今後の日本の対応～

※きかわだひとし後援会 入会のご案内など

きかわだステーション



第 31 号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591



外務委員会での質問より～中国の拡張政策と今後の日本の対応～

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

今号では、6月6日（金）の外務委員会で、私が質問した内容を中心にお話したいと思います。

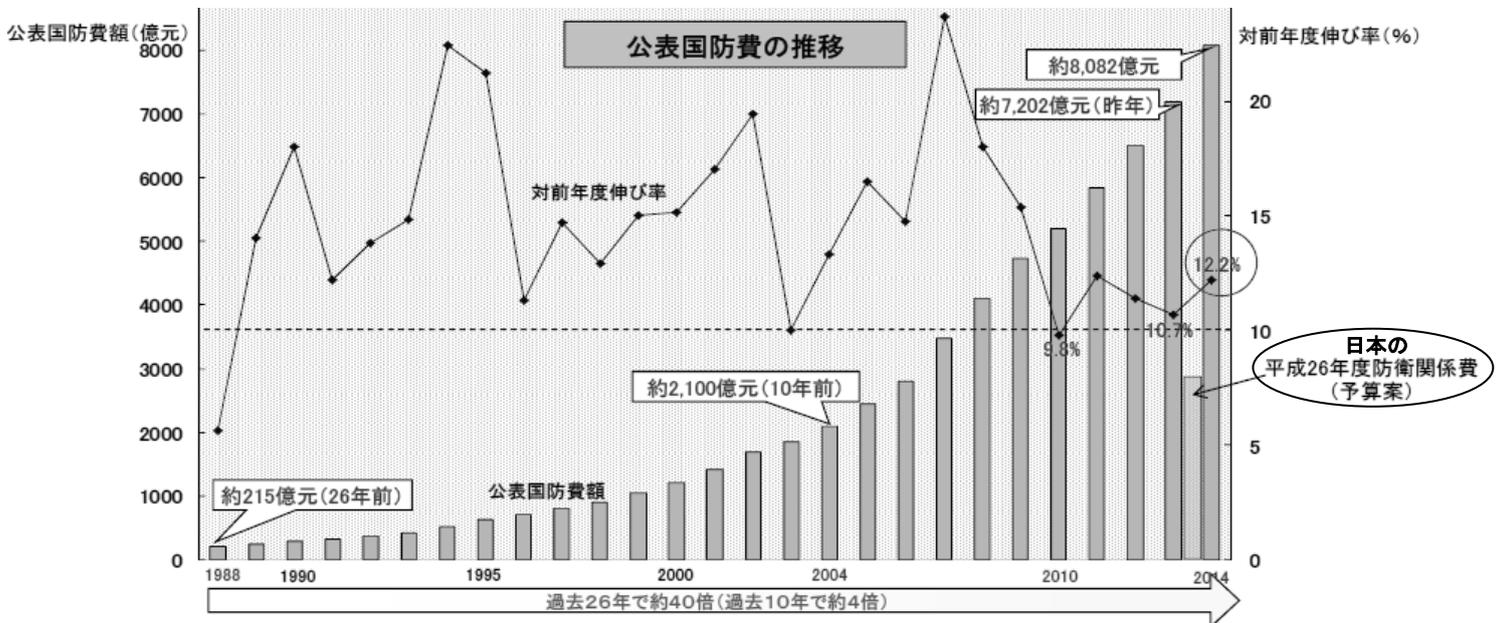
テーマは、「中国の拡張政策と今後の日本の対応」です。中国は、今や、世界第2位のGDPを誇る経済大国となりました。経済成長と共に、国家予算も増大し、2014年の国防予算は、前年対比12.2%増の約8,082億元（約1,315億7,000万米ドル）と膨れ上がっています（下記グラフ1参照のこと）。

そして、中国は、海洋を「BLUE LAND」と呼び、領土拡張政策に乗り出しています。特に、昨今報道されています、南シナ海におけるベトナムとの領有権問題は、現在も継続中であり、アメリカ等、世界各国が注目しています。

今回のベトナムとの問題を見ていると、中国が、東シナ海で行った、日本との中間線付近のガス田開発の手法を用いていることがわかります。つまり、裏を返せば、今、ベトナムと中国との間で起きている問題が、今後、そのまま東シナ海で起こる可能性もある訳です。今の日本には、中国の軍事力に対抗する戦力はあっても、行使はできません。よって、日本にできることの1つは、外交力を強化し対応することなのです。南シナ海での領有権問題も、他人事ではなく、積極的に関与していかなければなりません。ベトナムをはじめ、ASEAN各国やアメリカ、オーストラリアなどと、様々な国際会議や地域フォーラムの場で協調し、国際世論を味方につけなければなりません。

⇒裏面につづく

グラフ 1: 中国の 2014 年国防予算について ※政府発表によるもの。実際はこの約 1.3～2 倍あるとの分析もある



外務委員会での質問より～中国の拡張政策と今後の日本の対応～

安倍総理は、5月30日に開催された、アジア安全保障会議の基調講演で、海や空の領有権問題について、威圧と威嚇が、ルールと法にとってかわることは認められず、国際法に照らして正しい主張をし、平和的解決を図るべきと発言しています。この発言に対し、アメリカをはじめ参加国から、多くの評価を得ています。また、つい最近開催されたG7においても、同様の発言を行い、日本の考え方、行動規範を多くの国に伝えることができました。安倍総理のこのような姿勢を、私は、とても評価しています。

これまでの日本外交は、とにかく日本自身が国際法を遵守さえしていれば、他の国も見ていて協力してくれるはずだという姿勢が強かったように感じています。しかし、国際社会においては、主張することが最も大切です。もしそのような受け身の外交方針ならば、見直す必要があります。中国の拡張政策に対応するためには、安倍総理のように、今後も、国際会議の場で、一方的な武力による物理的変更は認められないことを、しっかり主張する必要があります。

その際、私が注目しているのが、今年の8月にベトナムで開催予定のASEAN海洋フォーラム拡大大会合です。

この会合は、アジア太平洋地域における海洋協力の促進が重要であるとの観点から、日本が中心となり設置されたものです。ASEANに関連した国際会議は、複数存在しますが、海洋問題に特化した会合は、この会合のみとなります。

参加国は、18か国（ASEAN10か国+日本、米、中、露、韓、豪、印、ニュージーランド）で、中国も参加しています。2012年に第1回会合がフィリピンで、2013年に第2回会合がマレーシアで開催されました。

今年は、中国との間で、領有権問題を抱えているベトナムが議長国となります。参加各国とも、領海問題に強い関心があるのは間違いありません。今回の会合が、中国に拡張政策を思いとどまらせる、絶好の機会であると私は考えています。

ベトナムをはじめ、ASEAN各国の大部分にとって、中国は最大の貿易国であり、領海問題を2か国間交渉で解決することは困難です。だからこそ、中国も参加しているこの会合で、多国間の話し合いの場をうまく設定することが重要になります。日本も、この会合の設立のきっかけをつくった国として、今まで以上に積極的に関与し、関係各国から、より一層の協力が得られるよう、努めなければなりません。

私は、海洋政策の専門家でもありますので、今後も継続して、外務省に対し、この会合への積極的な関与を促していこうと思います。また、同時期に開催されます、ASEAN地域フォーラムや、東アジア首脳会議外相会談においても、多国間の連携と一貫した主張の発信が必要です。

中国は、日本が武力行使できないことを背景に、一方的な行動を取っていることを、私たち日本人は忘れてはなりません。多くの国際会議の場で、仲間をつくり、国際世論を形成することこそ、日本が、積極的に取り組むことのできる、中国拡張政策への対応策であるのです。

平成26年6月吉日 自由民主党衆議院議員

黄川田仁志

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとし後援会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。**入会金・年会費は不要**です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



一緒に「自立」と「誇り」ある日本を創ろう！ **きかわだひとし後援会**

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2-8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集！

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大にご協力を！

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。東京理科大学卒、米州大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。現在、外務、法務、震災復興特別各委員会所属。自民党青年局長。